

システム構成



制御ソフト M2COA PROCESS

本パッケージ製品は、Windows PCにインストール可能な出力制御ソフトウェア M2COA PROCESSにて制御いたします。  
M2COA PROCESSでは、進捗状況の確認はもちろんのこと、生産ジョブの作成や管理、ロボットやプリンタの状態確認などが可能です。



自動化パッケージ仕様表 (M2COA-RCF1)

プリンタ	台数	小型フラット機 最大3台
	機種	UJF-7151Plus/PlusII UJF-3042 / 6042MkII / MkIIe ※後日対応
メディア	サイズ	UJF-7151Plus/PlusII : 710×510mm以下 UJF-3042MkII / MkIIe : 300×420mm以下 UJF-6042MkII / MkIIe : 600×420mm以下
	重量	5kg
	厚さ	1mm以上 1枚あたり重量5kg以下
ハンド	A3/A4サイズ用	最大297mm×420mmサイズ 最小166mm×167mmサイズ
	A2サイズ用(オプション)	最大420mm×594mmサイズ 最小196mm×394.8mmサイズ
	ハンド付属品	吸着パッド長短2個×2 吸着パッドカバー 24個
供給ストッカ	供給方法	積み上げ方式
	ストック量	高さ500mm以内
	サイズ	テーブルのみ: 幅855mm×奥行655mm×高さ607.2mm (キャスター接地面まで高さ) 位置決めプレートあり: 幅855mm×奥行655mm×高さ1,182mm (キャスター接地面まで高さ)
搬送機構	ロボット	協働ロボット(安全柵不要)
(ロボット+架台)	可搬重量	5kg
	面付	配置枚数を制御ソフトから指定(1-4個)
	ピック手段	真空パッドを用いた吸着パッドにて搬送する
	ワーク検出	積み上げ段数でのピック位置検出 ワーク有無の検出
	サイズ(架台)	幅800×奥行800×高さ833mm(ロボット除く)
制御		Ethernet通信

**⚠ 設置にあたっての注意事項**  
 ・ロボットを操作するオペレーターは、労働安全衛生規則第36条の31に基づく安全または衛生のための特別教育を行う必要があります。教育はロボットメーカーのスクールにて受講をお願いします。  
 ・ロボットによる作業を始めるにあたり、労働安全衛生法第28条の2(事業者の行うべき調査等)により、危険性または有害性等を調査(リスクアセスメント)し、その結果に基づいて労働者の危険または健康障害を防止するために必要な措置を講ずるよう努める必要があります。弊社から提供するリスクアセスメント表および残留リスク管理表に追記・対策の変更を行い、リスクアセスメントを実施いただきますようお願いいたします。

制御ソフト M2COA PROCESS 動作環境

推奨システム構成

OS	Windows 10® Pro (64bit) または Windows 11® Pro (64bit)
CPU	Intel® Core™ i5-4670K 3.4GHz
RAM	8GB
HDD	1TB以上
通信	Ethernet

オプション

品番	品名
OPT-J0563	A2サイズ用ハンド
OPT-J0564	ワンタッチハンドチェンジャー(オス)
OPT-J0565	ワンタッチハンドチェンジャー(メス)
OPT-J0566	タッチアップツール
OPT-J0567	イオナイザー

プリント自動化パッケージシステム

M<sup>2</sup>COA

効率化で、未来を切り拓く。



**重要** M2COA (M2COA-RCF1) には無償保証期間はありません。必ず年間保守契約にご加入ください。

●カタログ上の画面及びプリントサンプルは、一部ハメコミ合成です。●本カタログに記載の仕様及びデザインは技術改善等により予告なく変更する場合があります。●本カタログに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。●製品購入にあたって、設置、操作指導などを依頼される場合には、商品価格以外に別途費用が発生します。●本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、当社では海外での保守及びサポートは行っていません。●本カタログに記載の仕様及びデザインは2024年8月現在のものです。

⚠ 価格につきましては、弊社WEBページをご参照頂くが最寄りの営業所にお問い合わせください。

### 省力化・無人化による課題解決

プリントテーブル盤面上への印刷対象物の配置を自動化し、人為的ミスの削減に。  
 人の手が必要な作業は、ストックにメディアを重ねるだけ。仕事の効率化も可能。  
 オペレーター1人当たりが管理するプリンタ台数を増やすことも可能。人手不足問題を解消できる為、  
 人員を追加することなく生産力を向上することができます。

### ミマキだからできる一貫した制御

M2COAの為に一連のシステムを制御する専用ソフトM2COA PROCESSを開発。  
 印刷データや条件、個数、印刷物の寸法や配置方法などを入力するだけで  
 RIP作業、プリンタ、ロボットの制御が可能です。

### パッケージ製品による低コストを実現

自動化システムは本来、カスタマイズ製品がほとんどである為に、  
 高い導入コストや導入までの開発期間がネックでした。  
 パッケージ製品であるM2COAは、導入コストを抑えつつ自動化を実現可能。  
 さらに、導入に伴う開発期間が発生しないため、短納期での自動化の実現が可  
 能です。

### サポート窓口の一本化

パッケージ製品のM2COAならロボットとプリンタでサポート窓口が一本化。  
 万が一のトラブルが発生した場合でも、ミマキがサポートいたします。  
 その為、課題の解決時間が短縮されます。

## Mimakiによる 自動化のメリット



### 生産性の一例

プリンタ	UJF-7151 PlusII 3台
ワークサイズ	A3 (T=3mm) ストッカ容量 500mm までで 160枚収納
面付数	2面付
データ	50mm × 50mm 35個配置 (アクリルキーホルダを想定)
印刷条件	600 × 900 DPI 12パス 10分15秒 (カラー+ホワイト)

### 〈 1 日の生産比較 〉

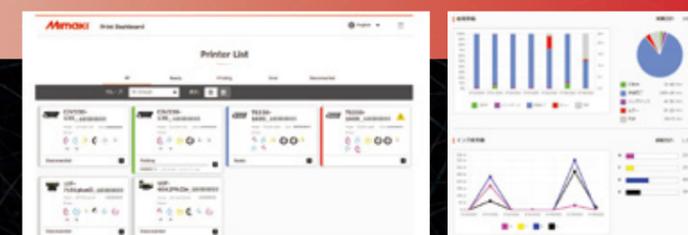


1枚あたり35個のデータを配置した際の生産差  
**+1820個 (約20%UP)** \*2

\*1 自動化は定時間内でストックに  
 セットできる回数は2回、  
 最大枚数 160枚 × 2回 = 320枚  
 \*2 プリンタ台数が1,2台時の場合  
 であっても同様の条件の場合は、  
 約120%の生産性向上を見込めます

## Mimaki Cloud Technology PICT

PICTでプリンタの稼働状況を離れた場所からでもチェック可能です。  
 Webブラウザで閲覧可能な為、PCは勿論、スマートフォンでも確認が可  
 能です。  
 さらにPICTでは、プリンタの稼働実績やインク使用量を確認可能！  
 事前にインク交換の目安を確認しつつ、生産を止めない生産計画を立て  
 ることができます。



### 〈 自動化で実現できること 〉

#### 生産性の向上

人が手作業で行っていた作業  
 をロボットが行うことで、夜  
 間も生産を実施することがで  
 きるようになる為、大幅に生  
 産力が向上します。  
 また、ロボットが生産を行うこ  
 とで、別の業務を実施するこ  
 とができるようになる為、効  
 率化を図ることも可能です。

#### 人的ミスの低減 と 安全性の向上

機械による自動化は、人のミス  
 を低減することができます。  
 機械は常に同じ方法で作業を  
 行うため、品質を一定に保つこ  
 とができます。

#### コストの削減

ミスによる素材の追加費用や  
 エネルギー費用、追加人員のコ  
 ストなどを低減できます。

#### 環境負荷の軽減

自動化によりミスが減るため、  
 廃棄物を減少することができ  
 ます。  
 また、システム内に省エネルギ  
 ー機器を採用することで、より  
 エコフレンドリーなプロセスに  
 対応することも可能です。



## Mimaki Remote Access

同一ネットワーク環境であれば、リアルタイムでのインク残量の確認やプリンタの状況確認も可能です。  
 日中の生産時にプリンタから離れた場所で別作業を実施しつつ、状況確認を行うことで、  
 生産性の最大化を図ることができます。

